

vol.002 AUGUST, 2018. [株式会社正文舎] 会社案内

with
spos



正文舎のアレやコレ。

「株式会社 正文舎」A to Z

BOOKSHELF



株式会社 正文舎のすべての情報は、WEBサイトでご確認ください。



BOOKSHELF

Text : Honma Kazumi Photo : Narita Sadayuki

正文舎の本棚。

'bukʃelf/ [名] (壁に取り付けた)本棚、書棚

正 文舎にはいくつかの本棚がある。

私の知る限りでは社長室に1つ、事務フロアに1つ、ホールに1つ、制作フロアに2つ…といった具合に点在し、小じんまりしたものから壁を覆う大きなものまで様々である。そこに並ぶ本の顔ぶれもまたフロア毎に趣きが異なり、眺めていると面白い。

2017年12月、そんな本棚たちのうち、私が所属するWEB部門の本棚を一念発起して大整理をした。図書館でいうところの“本の蔵書整理デー”である。

WEB部門スタッフは本好きが多く、スキルアップのための技術書をはじめノンフィクションやエッセイなど、自分のお薦め本を紹介し合っては本棚に持ち込み、本が増え続けている。しかし本のジャン



ルがバラバラに並んでおり、新しい本はとりあえずスキマにねじ込む状態で雑然としていた。貸出簿を置いて、社員誰もが自由に本を借りることが出来るようにしているが、もっと快適に使える本棚にしたいと思っていた。

整理は年末の大掃除の日には完了させるべく、1週間前から段階的に準備をした。ヘタに手をつけると取捨がつかなくなる。

まずはジャンル分けをどうするか考えた。フセンに「web技術」「マーケティング」「自己啓発」など、目についた分類名を書いた。書き出していくとフセンの数は10枚になった。段ボール箱を10個用意して、書いたフセンを貼っていく。そして棚の本を一旦すべて外に出した。ホコリで手は黒く汚れ、虫の死骸も出てきた。

ここからは楽しいジャンル分け作業。一冊ずつ手に取っては何について書かれた本なのか判断し、該当の箱へ入れていく。様々な本がある。「ビジネス書」なのか「エッセイ」なのか一瞬迷うモノもあるが、あまり時間が無いので、独断でサクッと決める。本以外の

モノもあった。何かの書類やパンフレット等、よくわからないモノは「総記」の箱へ。「総記」とは図書館で用いられる分類法の項目のひとつで、例えば雑誌・新聞など特定分野に入れられない物を指す。ここでは強引に解釈をして「困ったモノはなんでも入れてよし」とした。

年末大掃除の日。空になった本棚を雑巾で丁寧に拭いた。ジャンル毎のエリアを決めて本を並べていく。他人の本棚を見ると、その人の性格や何に興味を持っているのかがある程度分かったりするものであるが、WEB部門の本棚にもWEB部門らしさがにじみ出していた。

この日は仕事納めの日でもある。本がキレイに収まった。これでインプットがさらに加速し、お客様にもっと貢献出来るだろう。そのような事を思いながら一年を締めくくった。

そういえば社長が以前ぼろっと言っていたのを思い出した。将来、社内の本を全て集めた図書室(?)を作るとか作らないとか…

ある小さな取り組み

「保 育園や幼稚園に寄付した色紙セットがまだ余っている」そんな話を社長の岸から聞き、スタッフがFacebookで呼びかけたら、希望する保育園の先生がたくさんいてびっくりしました。

先生から事情を聞くと、毎日のお絵描きや折り紙は折り込みチラシの裏を使っているそうなのです。

「色がついているだけで素敵です」と言ってもらえて、こちらも笑顔になりました。

正文舎内ではちょっと邪魔もの扱いられていた色紙が、視点を変えるととっても喜んでもらえるものになったからです。

紙ってやっぱり喜んでもらえるんだな。

そう思って社内を改めてみると、もう使わなくなっている紙がまだあるらしいのです。

不要な紙があるならば、何か作れないのかなあ。

メモ帳なら作れそうかも。

そう思って、印刷製本課のスタッフに聞いたら、「簡単にできますよ」と答えてくれました。そして、ほどなく分厚いビッグなメモ帳を試作品として届けてくれました。

マーケティング

Text & Photo : Saori Shirafuji



想像を超える厚さだったので、それがおもしろくて、これもFacebookで紹介したら、オリジナルサイズのメモ帳を作ってほしいというご依頼をいただきました。15cm×15cmの正方形の紙が大量に必要なのだそうです。

「無料だと申し訳ないので、売ってください」ということで、ここで商談が成立しました。

こんなエピソードから思うのは、紙の魅力は変わらずあって、必要な人に情報を届けると喜んで使ってもらえるんだなということです。そして、新規商品を開発だとか力を入れて取り組むことも大事ですが、これできそうかなと思うものをさっと試作品を作ってみることも案外いい方法なのですね。廃材利用なのでリスクもないですし、商品ができたなら、質を上げることもできますからね。

そして、FacebookをはじめSNSなども駆使して、日々発信をしていると、必要としてくれる人に出会う確率も高くなることも実感しています。これがWebマーケティングの基本です。

紙の魅力、インターネットの魅力、このふたつの魅力を理解して、お客様のお役に立ちたいと思っているのです。

情報セキュリティ基本方針

1 基本姿勢及び目的

私たちは事業活動の展開において、情報資産は重要な経営資源であり、適切な情報セキュリティ対策を講じ、有効かつ効率的に活用いたします。お客様からの更なる信用の向上及び経営体質強化を図るために、情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の構築及び運用、維持・管理を行います。

2 行動指針

- (1)基本方針文書は、経営陣によって承認し、全従業員及び関係者に公表、通知する。
- (2)当社の管理下にあるすべての業務活動に係わる情報資産を保護の対象とし、その「機密性」、「完全性」及び「可用性」の確保のためリスクアセスメントを実施し、適切な情報セキュリティ対策を施す。
- (3)従業員及び関係者の意識に対し、情報セキュリティ教育・啓蒙活動を実施し、情報資産の適切な利用を行なうよう努める。
- (4)情報資産の保護にあたり、情報セキュリティに関連する法令・規範を遵守する。
- (5)情報セキュリティ体制の定期的な評価・見直しを実施することにより、新たなリスクの発生や環境変化に関する確認と対策を行い、継続的に情報セキュリティ管理体制を改善する。

2014年8月1日制定



個人情報保護方針

当サービスは、お客様の個人情報について細心の注意をもって管理をしております。

当サービスの個人情報保護に関する考え方とお客様にご留意いただきたい点につきまして、以下の取り組みを実施しております。

情報の収集

当サービスにて、お客様の個人情報を収集させていただく場合、お客様に対する当社の窓口において、個人情報の利用目的、利用範囲、お問合せ先を通知・了承をいただいた上で、目的に沿った限度内での個人情報を収集させていただきます。

個人情報の利用目的

当サービスは、ご提供いただいた個人情報を以下のいずれかの目的の範囲内で取り扱いさせていただきます。

[ご本人確認のため]

- 当サービスへのお申込み確認
- 当サービスのお届けまたはご提供
- ご購入代金やご利用料金の請求または受領案内送付
- ご利用サービスの提供条件の変更・停止・中止または契約解除の通知
- 当サービスの改善または新たなサービスの開発
- 当サービスの商品企画の参考
- ご請求資料・ノベルティ等の送付
- 統計的に処理した個人情報（個人を特定不可能にしたもの）を調査結果として分析するため
- アンケート調査の実施

[個人情報の第三者提供]

当社は、以下の場合を除き、お客様にご提供いただいた個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

- お客様との同意がある場合
- 法令等に基づき、提供に応じなければならない場合
- お客様の生命、身体または財産の保護のために緊急に必要がある場合
- 統計的なデータとして、お客様個人を識別できない状態に加工した場合

[個人情報の管理]

当サービスは、ご提供いただいた個人情報を厳重に管理し、不正アクセス、紛失、破壊、改ざん及び漏洩などに関し予防措置を講ずるとともに、万一の発生時には速やかな是正措置を実施いたします。

[個人情報の照会・訂正・削除]

当サービスにご提供いただいた個人情報の内容に関して、照会・訂正・削除等を希望される場合は、お電話または電子メールにてお問い合わせください。ご請求いただいた方がお客様ご本人であることが確認でき次第、速やかに個人情報を開示、訂正または削除いたします。

クッキーについて

当サービスでは、最適な表示、ユーザー数のカウント、または再入力の省略のためなどにこの技術を使用しています。

その他

当サービスは、事前にご承諾いただきましたお客様に対して、サービス等に関する情報を、ご登録の宛先までメールまたは郵送でご案内させていただくことがあります。

本ページ記載事項は、当社とお客様との間において効力を及ぼすものであり、第三者に適用されるものではありません。

当サービスの内容の変更に応じて、本ページの記載事項を改訂する場合がありますをあらかじめご了承ください。

※以上の「お客様の個人情報」とはお客様の「氏名」、「住所」、「電話番号」、「FAX番号」、「電子メールアドレス」等の情報の単体や組み合わせにより、お客様個人を特定することができるものを示しております。

お客様情報の管理窓口
個人情報管理責任者：岸 昌洋
個人情報管理担当者：総務部／村田景伯
お客様情報相談窓口
[E-mail] privacy@syoubunsysa.co.jp



《 会社概要 》

社 名：株式会社 正文舎

代 表 者：代表取締役 岸 昌洋

創 業：昭和 9年 5月 1日

設 立：昭和27年 5月15日

資 本 金：1,400万円

所 在 地：[本 社]
〒003-0802
北海道札幌市白石区菊水2条1丁目
4番27号
TEL.011-811-7151
FAX.011-813-2581

[東京オフィス]
〒107-0051
東京都港区元赤坂1-1-7
オリエント赤坂モートサイド805
TEL.03-5413-4016
FAX.03-5413-4017

取扱い品目
印刷事業
【 商業印刷物 】
[情 報 系] バンフレット・リーフレット・カタログ・チラシ、会社案内、ポスター、カレンダー、PR誌、取扱説明書（マニュアル）
[物流資材系] 各種封筒、包装紙、シール・ラベル
【 出版印刷 】
[書 籍] 名鑑、各種名簿、記念誌、単行本
[雑 誌] 週刊誌、月刊誌、専門誌
[新 聞] 各種業界新聞、学校新聞
[学 参 系] 教科書、辞典、問題集、生徒会誌
[自 費 出 版] 同人誌、自分誌、詩集、エッセイ、写真集
【 業務用印刷 】
伝票・帳票各種、オンデマンド／バリアブル、小ロット印刷、賞状（学位記・証書等）印刷、可変宛名印字、ダイレクトメール
情報メディア事業（WEBサクセス）
http://www.websuccess.jp/
各種WEBサイトの企画・制作・運営管理、各種データベースの企画・構築・運営管理、クロスメディア展開の企画・構築・運営管理
賞状net事業
賞状・表彰状等のネット通販サイトの運営



メディア・ユニバーサル・デザイン協会認定の
メディア・ユニバーサルデザイン・アドバイザーの
資格を持った制作者が多く在籍しています。



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用

紙には古紙80%再生紙の
OKマットコートエコグリーンを使用しています。



グリーンプリンティングの認定を受けています。



P-00023

全日本印刷工業組合連合会による
CSR認定制度の基準を達成しています。



IS 618840/ISO 27001

ISO/IEC 27001:2013 JIS Q 27001:2014
情報セキュリティマネジメントシステム
の認証取得をしています。



ぶらねっと
©syoubunsysa.inc

★ぶらねっとくんは、正文舎の業務や取組を紹介するときに
どこからともなく現れるオリジナルキャラクターです。

想 像 を 創 造 へ

株式会社 正文舎

札幌 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目4-27
本社 TEL.011-811-7151 / FAX.011-813-2581

東京 〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7 オリエント赤坂モートサイド805
OFFICE TEL.03-5413-4016 / FAX.03-5413-4017

<https://www.syoubunsysa.co.jp>

Publisher ■ Kishi Masahiro
Creative Director ■ Narita Sadayuki
Special Thanks ■ Shirafuji Saori
Chief Editor ■ Narita Sadayuki
Art Director ■ Narita Sadayuki
Editor ■ Honma Kazumi
Editor ■ Tokunaga Moe
Editor ■ Ebina Mikiko
Editor ■ Watanabe Mototsugu